

令和3年6月定例会月会議提案理由

◆6月4日に開会された市議会定例会月会議で、市長が述べた概要をお伝えします。全文は市ホームページで公開しています。



提案理由 全文

ワクチンの接種状況

65歳以上の高齢者への接種について、医師会の全面的な協力をいただくなか、多くの医師・看護師・薬剤師などの協力をお願いし、集団接種を進めています。

市内の医療機関による個別接種については、国からの十分なワクチン量の供給見通しが立ったことから、5月下旬から前倒しで開始しました。個別接種が可能な医療機関は、現在33医療機関で、準備が整った所から順次予約を受け付け、接種を行っていたでいます。また、高齢者施設入所中の入への接種についても5月中旬から順次接種を進めています。

高齢者の皆さまへのワクチン接種を7月末までに完了すべく、医師会の皆さまと連携して、集団接種と個別接種の両輪により、取り組みます。

60～64歳の人、基礎疾患を有する人、また接種を受けていない高齢者施設に従事する人へのワクチン接種は、高齢者のワクチン

接種が終了した後、速やかに開始できるよう7月上旬に接種券を送付し、予約が開始できるよう準備を進めています。

今後、12歳以上の一般の人を対象とした接種体制も、医師会と連携し、鋭意検討を進め、可能な限り早期に市民の皆さまにワクチン接種をいただき、安心して生活を送ることができるよう、また、社会的機能がしっかり維持されるよう取り組みます。

生活支援策の取り組み状況

守山市社会福祉協議会が実施している生活資金の貸し付けについて、「緊急小口資金」は520件、「総合支援資金」は814件の貸付決定を行いました。また、家賃を給付する「住居確保給付金」は、5月末までに100件の交付決定を行いました。

また、子育て世帯への経済的支援として、昨年度は、「子育て世帯への臨時特別給付金」を児童1万3,331人分、「ひとり親世帯臨時特別給付金」を児童853

人分の総計2億2,120万円、また市独自ですべての子どもと妊婦に対し、「子ども未来商品券」を1万7,858人分、計1億7,858万円配布しました。

本年度も、子育て世帯生活支援給付金のうち、ひとり親である児童扶養手当受給者には、同手当支給と併せて、5月に児童684人分、1人5万円の給付金を支給しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、収入が児童扶養手当の対象水準となったひとり親世帯についても、申請により同額を支給すべく、受け付けを開始しています。

このほか、生活困窮者への短期支援策として、日常生活に直結する「食」に焦点を当て、独自支援を実施しました。その中でも、「お米の配布事業」は、一般社団法人フードバンクびわ湖や守山市社会福祉協議会と連携するなか、お米だけでなく、フードバンクに集められた食料も活用し、全3回の配布により、延べ650世帯へ食料を渡すことができました。引き続き、生活困窮世帯などに向けた支援を継続かつ充実させる必要があると認識しており、今後も市民の声を聞き、必要な支援に努めます。



「お米の配布」事業

経済支援策の取り組み状況

資金繰り支援として、新型コロナウイルス感染症関連の融資は1,141件で200億円の実績があり、県制度融資に係る利子補給は142件で、1,390万9千円の助成を行いました。また新たな取り組みへの支援として、国の小規模事業者持続化補助金への上乗せ補助、県の経

こうしたなか、令和3年度には、「子ども・子育て応援プラン2020」に基づき、小規模保育所5カ所の開設と守山幼稚園のこども園化により、新たに計175人の受け皿を確保しました。また、保育士などの確保については、公立園での正規職員比率の引き上げ、民間園に対する人材確保に向けた支援、「保育人材バンク」の活用、「すみれ保育園」併設の人材育成施設で養成した「子育て支援員」の確保などを進めました。

これらの結果、本年4月1日現在、市全体で、昨年度同時期から76人増加の2,284人の児童を預かることができ、厚生労働省が実施する調査に基づく待機児童数が「ゼロ」となり、年度当初の待機児童が解消できました。今後も、当面は、保育園などへの就園希望者の増加が見込まれることから、保育ニーズに対応すべく、吉身6丁目地先に定員60人の中規模保育園の整備を進めます。

教育の充実

昨年度末までに、各小中学校のネットワークの幹線およびインターネット回線を10ギガに増強するとともに、児童生徒が

1人1台端末を快適に利用できる環境整備が完了しました。さらに、守山小学校グラウンドの拡張工事が完了し、また、守山南中学校の大規模改造事業についても、給食・第2体育館の整備を6月中に完了し、7月から使用開始する予定です。

守山南中学校の給食は、守山中学校、守山北中学校および明富中学校の3中学校のモデルとなる取り組みでもあることも踏まえ、2学期からの給食開始に向け準備を進めています。

まず、給食経験のない中学校教職員が問題なく給食指導が行えるよう、小学校栄養教諭などによる研修を実施しています。アレルギー対応については、教職員が対応マニュアルを熟知するなか、必要な生徒一人ひとりについて、その情報を共有し、適切な対応を行います。また、給食の調理と配膳の流れを、調理委託事業者とともに事前にシミュレーションを行い、給食実施前に課題を抽出し、修正を図ります。加えて、緊急事態宣言が解除された際には、先進地視察を行う予定です。また、できるだけ、地場産材の活用ができるよう調整を進めています。引き続き、学校現場と教育委

員会が連携して、小学校と同様に、温かくておいしい給食が提供できるよう万全を期します。

新庁舎整備

3月定例会月会議でデザインビルド事業の本契約に関する議決をいただき、実施設計に取り組んでいます。

今年度は、市民にとって利用しやすく、また、職員などにとって働きやすい新庁舎を実現するために検討を進め、ICT技術の活用と効率的かつ効果的なオフィスレイアウトなどを前提に設計を取りまとめ、9月からは先行解体工事の着手、令和4年1月から新庁舎の本体工事に着手します。工事中は、敷地の利用について制限が生じるほか、騒音や振動などの発生も予想されることから、庁舎を利用する皆さまや近隣住民の皆さまにご迷惑をおかけすることとなりますが、最小限の影響に留め、市民の皆さまにいていねいな説明を行うなか、計画的に工事を進めます。

新庁舎外観イメージパース図

新環境センター

環境施設更新事業の進捗状況

待機児童対策



新庁舎外観イメージパース図